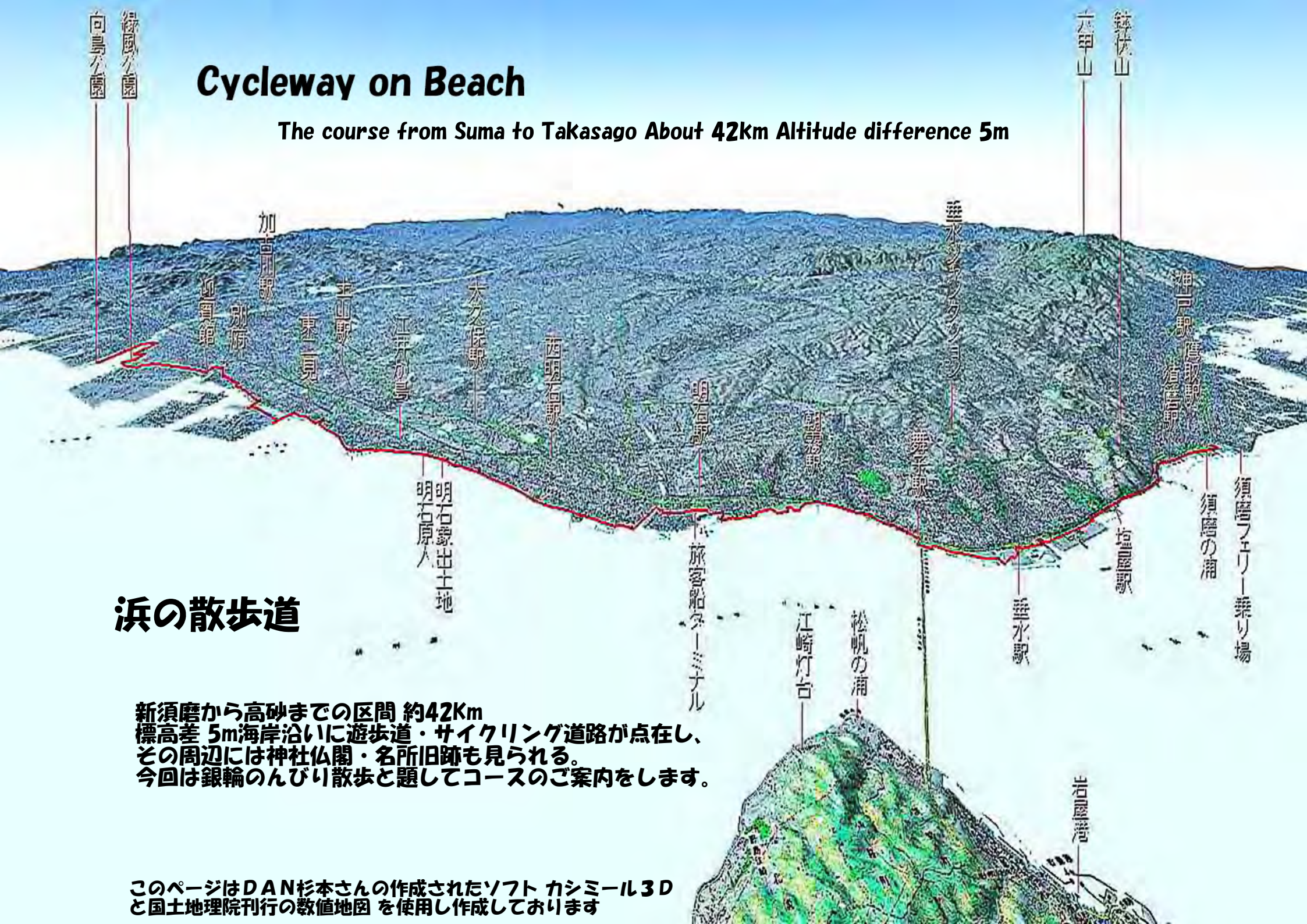


Cycleway on Beach

The course from Suma to Takasago About 42Km Altitude difference 5m



浜の散歩道

新須磨から高砂までの区間 約42Km
標高差 5m海岸沿いに遊歩道・サイクリング道路が点在し、
その周辺には神社仏閣・名所旧跡も見られる。
今回は銀輪のんびり散歩と題してコースのご案内をします。

このページはDAN杉本さんの作成されたソフト カシミール3D
と国土地理院刊行の数値地図 を使用し作成しております





海上安全

豊漁繁栄

不須磨海浜神社



Suma Shioya
須磨-塩屋間 4.9 Km

須磨海浜水族園の東側より、海岸に出るとJR須磨駅までの約2Km砂浜が続く。海浜公園の中を通り海苔の加工場を過ぎたあたりでJRの踏切りを渡りJR線沿いに約50m細い道を走り、右に折れると国道2号線に出る。信号を渡ると須磨浦公園の東側入口 公園の中を通り、山陽電鉄 須磨浦公園駅のロータリーに出るここから200m歩道を西に進むと敦盛塚がある。ここから垂水まで国道2号線を走る。交通量が多いので走行注意。ポタリング希望の方は信号を渡りJRと国道の間の歩道を走る方が良い。

上 須磨の浦 淡路島に沈む夕日

下 須磨海浜水族園



須磨浦公園よりJR須磨駅の方向を振り返る。





神戸市指定有形文化財

敦盛塚石造五輪塔

- 総高 395cm
- 製作年代 室町時代後期～桃山時代
- 指定年月日 平成9年10月23日

この五輪塔は花崗岩製の総高4m近い堂々たるもので、中世の五輪塔としては石清水八幡宮五輪塔(京都府八幡市)に次ぎ、全国で2位の規模を誇る。法量は総高395cm、2石から成る地輪は幅126cm、高さ98cm、水輪は、最大径126.4cm、高さ93cmで下部がすぼまり、火輪は軒幅126.4x123cm、高さ98cm(上面に径30cm、深さ20cmの柄穴)、風・空輪は一石彫成で、風輪の径72cm、高さ52cm、空輪最大径69cm、高さ75cm。各輪四方にそれぞれ五輪塔四門の梵字を薬研掘りに配している。紀年銘はなく、梵字が大きいことや水輪や火輪の様式にやや古調がみられるが、風・空輪は明らかに近世塔の先駆的様式を示していることから、室町時代後期から桃山時代にかけての製作と思われる。

この付近は源平一の谷合戦場として知られ、寿永3年(1184)2月7日に、当時16歳の平敦盛が、熊谷次郎直実によって首を討たれ、それを供養するためにこの塔を建立したという伝承から、「敦盛塚」と呼ばれるようになった。このほか、鎌倉幕府の執権 北条貞時が平家一門の冥福を祈って、弘安年間(1278～1288)に造立したなどの諸説がある。

昭和60年(1985)4月に、神戸市教育委員会が周辺整備のための発掘調査を行ったところ、下半部が埋没した地輪の下に、四角に囲った板石とその中に2枚の石から成る基壇遺構があることが分かった。このため、基壇の上部を地表に現し、地輪部以上を完全に露出するように積み直した。

平成11年3月

神戸市教育委員会

須磨浦公園

1995年1月17日午前5時46分

阪神大震災により、みどりの塔の両サイドに配置された西側の地球儀(直径1.5m 重さ2.4ton)が落下
震災の惨事を後世に伝える為、修復せず手前に同サイズの半球モニュメントを配置され落ちたままになっています。
ちなみに東側の地球儀は台座上で健在



Shioya Tarumi
塩屋-垂水間 2.7 Km

塩屋駅を過ぎ約1 Km国道2号線を走り海側の建物が途切れる所で歩道に入りすぐ、Uターンする形で平磯公園に入る。入ってすぐ再度Uターン万葉歌碑の道を進む。現在道路工事中のため、垂水年金会館の中を通る。国道2号線に出て直ぐ橋を渡った所で車止めの付いた道があるので左折 ここが垂水港の東側入口 漁港の中程に海神社への鳥居が有り、国道の北側に神社があるので覗いてみてもよい。

海神社のお祭り



垂水港の日没



万葉歌碑の道



Tarumi Maiko
垂水-舞子間 3.8 Km

浜の遊歩道 海洋性リゾート空間

漁港の中を約600m進むと海浜公園の入口に着く。
車止めを通りマリンピア神戸に向け、駐車場に沿った道に行く。
マリンピア神戸は明石海峡大橋開通と同時期に造られた設備で
若者を対象にしたアウトレットの店が多い。
マリンピア神戸から遊歩道沿いにアジュール舞子浜に入る。
アジュール舞子の浜側の遊歩道を通り、明石海峡大橋の
下を通り右手に廻ると国道2号線に出る。
垂水駅の西側700mに五色塚古墳がある。

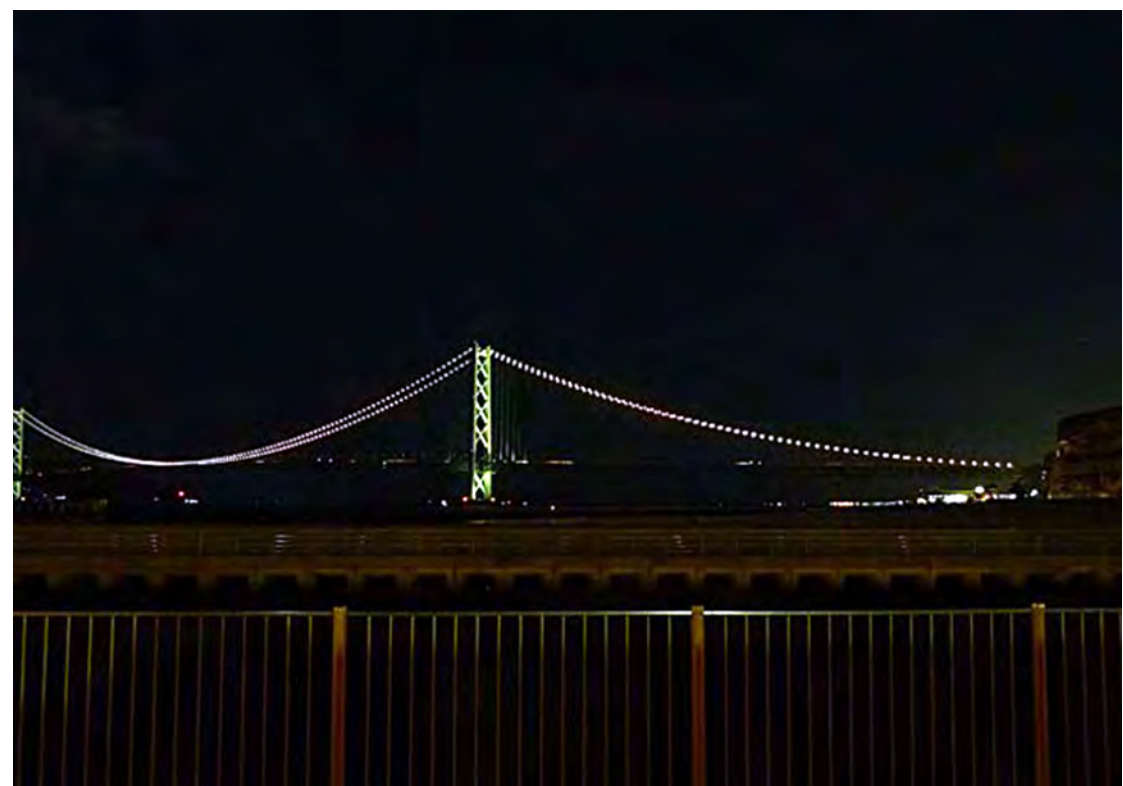
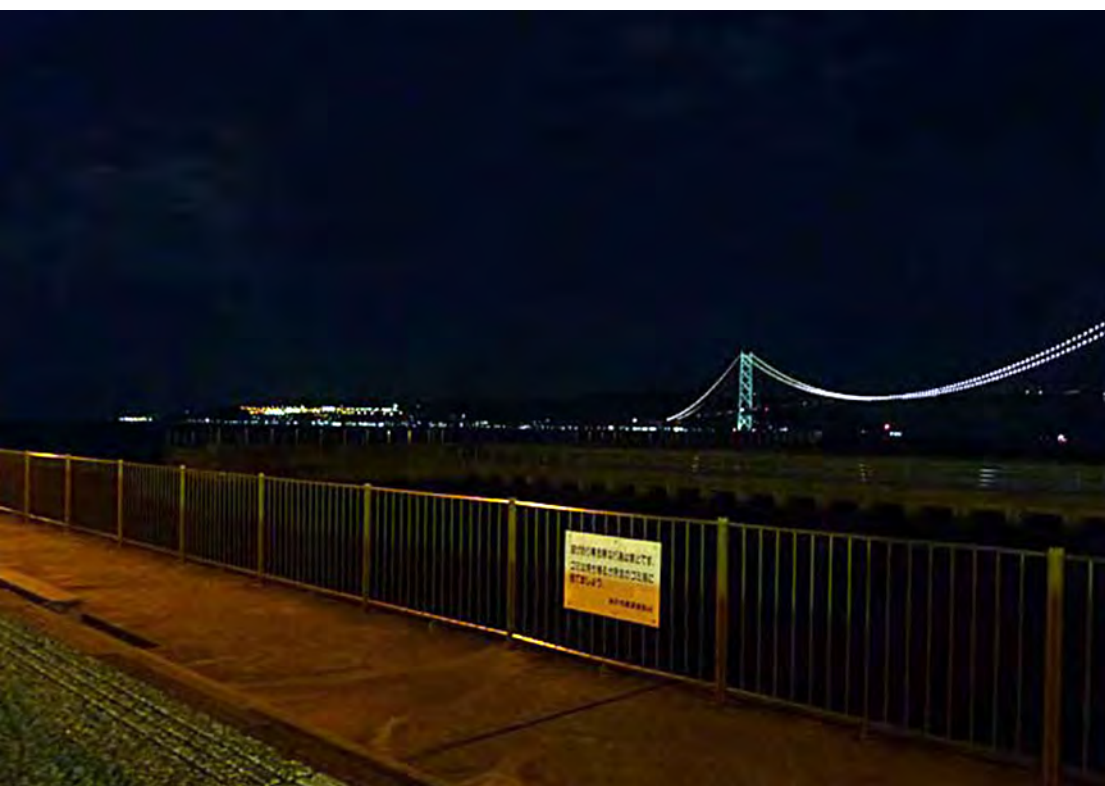
浜の遊歩道より見た明石海峡大橋



ポルトバザールより見た明石海峡大橋

ポルトバザールより見た五色塚古墳







明石海峡大橋と移情閣



明石海峡大橋 全長3,911m、中央支間長1,991m、主塔の高さ293.3mの世界一のつり橋で、平成10年4月5日午後5時に開通

舞子-朝霧間 2.3 Km

国道2号線

海洋性リゾート空間はここまで

舞子駅を右手に見ながら国道2号線走る。走り出して直ぐ右手に大きなお地蔵さんが祠の中に鎮座されている。チョット異様な感じ
JR朝霧駅の手前のY字路を左へ300m程走ると左手に大蔵海岸への入り口が有り、そこから海岸の遊歩道に出る。

舞子-朝霧間は交通渋滞も少なく車がスピードを出し走るため、走行には十分気をつけよう。国道2号線は歩道を走る方が無難かも
山陽電車 西舞子駅の北側約700mには大蔵山遺跡もあり考古学に興味のある人は覗いてみてください。

マクドナルドより見た明石海峡大橋

(2003.9閉店し、建物も取り壊されました)



大きなお地蔵さん





朝霧-明石間 4.4 Km

Asagiri Akashi

浜の散歩道 海洋性リゾート空間

明石海峡大橋の開通にあわせて、コースタル・コミュニティ・ゾーンという整備計画に基づき、海浜整備が行われた大蔵海岸の中の遊歩道（木造廊下）を明石に向かって進む。途中一カ所一般道路の橋を渡るためゾーンが二分されているが快適な散歩道である。

公園を過ぎると護岸堤を少し走り明石市役所南のベランダ護岸に出る。ここは明石海峡大橋や淡路島を一望でき眺めが素晴らしいです。また、安全に釣りを楽しめるので、一年を通じて家族連れや子供たちで賑わっています。オット 丁度このベランダの上が東経135度

神戸市と明石市の違い 魚釣り場 ごみ袋を整備しているかどうか どっちがどっち？ 走ってご確認を

市役所より播磨サイクリング 道路入口迄はタコフェリー乗り場・播但汽船乗り場を通り、寺の多い町並みを西に走り明石川に出る。

天文科学館・明石公園・明石城・各種競技場も近くにあり春はさくら・秋は紅葉/運動会で賑わいます。「たこ焼き」も有名な





淡路島との連絡船

上は西淡路ラインと播但汽船
下は船のガソリンスタンド



Akashi Hayashizaki

明石 - 林崎間 2.2 Km

播磨サイクリング道路（浜の散歩道）

「播磨サイクリング道路」のスタート地点は明石川河口に有り、浄化センター・望海浜公園を右手に見ながら林漁港に入る。

望海浜公園は江戸時代に藩主が「望海亭」（茶室）を建て、眺めを楽しんだ所だと言われています。

林漁港はイカナゴの釘煮等の海産物加工工場が多く見られ春先にツーリングすると釘煮を作る独特の匂いがする。

また 林漁港の東端には防波堤をかねた海岸テラスも造られ釣りをする人で賑わっている。明石海峡大橋や淡路島を一望できる。

林崎にはにはムーミンパパという洒落たカフェレストランが有り、覗いてみては如何 浜の散歩道より入る階段もある。



浜の遊歩道入口



海岸

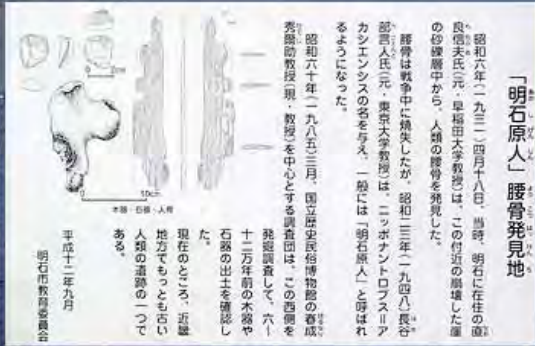




林崎-江井ヶ島間 6.0 Km

播磨サイクリング 道路

護岸堤を江井ヶ島に向け海岸線・淡路島を眺めながらのんびりとポタリング谷八木川河口を迂回し約 2 Km進むと自然のままの崖が現れる。ここが明石象の出土地です。一見変哲もない崖で気がつかず通りすぎる人も多い。明石象は神戸市西区伊川谷町でも発見されています。この地「屏風ヶ浦」を明石原人発見地と誤解する人もいるのか最近この地に明石原人発見地の方向標識(棒杭)が立てられた。ここから約 600 m進むと車 10 台ぐらい駐車出来る場所が有り、明石原人腰骨発見地案内板がひっそりと立てられている。案内板によると 1931.4.18 明石在住 直良教授により発見されたとある。化石化された人骨が戦争で焼けてなくなってしまったのは残念。旧石器時代に思いを巡らせ走るうちに江井ヶ島海水浴場に着く。



左 明石原人発見地の遠望

明石象の出土地 屏風ヶ浦

江井ヶ島海水浴場





江井ヶ島これより先は一般道を通り酒造会社裏手の細い道に行く 住吉神社





上 瓦工場の石垣？（瓦垣？？？）



造り酒屋 太陽酒造



自転車・歩行者専用の橋

Eigashima

Futami

江井ヶ島-二見間 4.7 Km

江井ヶ島は漁港と地酒の町 太陽酒造・江井ヶ島酒造等有名な酒蔵もある。漁港の隣は海水浴場となっており夏には大勢の人で賑わう。江井ヶ島漁港を左に見ながら赤根川を渡るとワインハウスが現れる。食堂も隣にあるので昼食も取れる。少し行くと魚住 住吉神社が現れ、瀬戸川河口を少し迂回し、丸尾カルシュウムの横を進むと二見港に着く。港より昔ながらの町並みを残す細い道を進むと変形十字路に出る。ここで左前方に進むと左手に自転車・歩行者専用の大きな橋が見える。橋を渡り明石海浜公園に向かう。二見港は安政年間には、播州木綿、小麦、かますなどの積み出し港として重要な役割を果たしていました。今はヨットハーバーがメインの様です。夏場は干しダコが潮風になびく港情緒たっぷりの町並みが続いています。明石海浜公園 海に囲まれた緑いっぱいの公園。プール、運動場、テニスコートや子供広場などがあり生け垣を越した向こう側はヨットハーバーになっています。

右 能舞台と拝殿



下 海に向かってたつ鳥居



住吉神社 魚住町

4世紀頃、神功皇后が朝鮮遠征途中、播磨灘で暴風雨に遭いこの海岸に立ち寄り住吉大明神に祈ったところ風雨が収まり、皇后がここに住吉大明神を祀ったのがこの神社のはじまりといわれています。江戸時代、明石城主小笠原忠真が能舞台を建立、毎年5月1日には境内にある能舞台で奉納能楽会が催されます。明石市有形民俗文化財に指定されています。



不動明王と築港記念碑



昔の郵便ポスト



浜 ウカメ干し

Futami Befu
二見-別府間 6.6 Km

明石海浜公園の西端まで行き右折、橋を渡る。
橋を渡り切った所に新聞の父 ジョセフヒコ(播磨国
加古郡古宮村の彦太郎)生誕の地の碑があります。
直ぐに左折し、望海公園を左に見ながら進むと播磨町立
総合体育館が有り右折し、信号の手前の道を左折旧道を通り
多木化学研究所の敷地端の5差路の交差点で左前方に進み、
橋を渡った所で左折道なりに進むと一風変わった4階建ての
建物が見える。多木浜洋館である。地元の人々は外壁に銅板を
張りめぐらしているところから、あかがね御殿と親しんで呼
んでいます。西側には住吉神社が有り、手枕の松は見事。



上 干シダコ 下 新聞の父 ジョセフヒコ生誕の地の碑

播磨町 住吉神社





浜の宮天満宮



Befu Mukojima Park
別府-向島公園間 4.2 Km

多木浜洋館は、多木化学の創始者である多木久米次郎氏が賓客を迎えるために建築した別荘で、大正の7年に着工、昭和8年完成。現在は多木化学(株)の記念館となっています。国の登録文化財に選定されています。

別府港より関西熱化学・神戸製鋼を左に見ながら一直線の道を西に進み大きくカーブする手前の信号で左折、ヨットハーバーを右折すると松風公園に到着。ここは加古川左岸河口に位置し、河口対岸突端部が高砂海浜公園です。目的地まで後4 km。ここからは一端メイン道路に出て浄化センターの横を左折加古川左岸を相生橋迄遡上し、右岸道路を南下すると向島公園高砂海浜公園に到着。

近くには高砂神社・十輪寺等の神社仏閣も有ります。またここより加古川右岸サイクリング道路が整備されており、平荘湖の南 - 加古川支流の西川右岸 - 権現ダムを通り、志方東公園まで約22 Kmのコースも有ります。

別府 住吉神社



上 相生橋 下 あかがね御殿



「手枕（たまくら）の松」別府 住吉神社
松が横に傾き、腕枕のように見えることから「手枕（たまくら）の松」という名前がつけられたといわれています。初代の松は大正末期に枯れ、現在の松は2代目です。
播州松めぐりの東端にあたり、西に向かって浜宮天神社「菅公のお手植の松」、尾上神社「尾上の松」そして高砂市の「高砂の松」、「曽根の松」まで名松が続いています。



松風公園

松風公園からは加古川左岸河口に造られた松風こみちを通り上荘橋を渡り向島公園へ
多木化学横の地藏尊





十輪寺々伝

高砂市高砂町横町二〇七四

寶瓶山十輪寺

浄土宗西山禪林寺派

本尊 阿彌陀如來

本堂 飛棟造り天禄十四年再建 第三十三代安徳院代(四ノ宮) 兵庫県指定重要文化財

山門 普僧門

寛和元年(八四〇)再建 高砂市指定文化財

開基

建永二年(一一二一)三月法然上人四国に在遊の折高砂浜の老漁夫八田右衛門大夫夫妻の他の求めに成じて上座され当山に於いて講を授けし者も御名念仏にまじりて住持となす事と敷化されてから真言宗より浄土宗に改宗致し法然上人を中興第一祖として今に傳く尚最近第三十三代高僧上人に關つた傳言が散見され当山の由緒深きこと明瞭なり

法然上人御教化

建永二年(一一二一)三月法然上人四国に在遊の折高砂浜の老漁夫八田右衛門大夫夫妻の他の求めに成じて上座され当山に於いて講を授けし者も御名念仏にまじりて住持となす事と敷化されてから真言宗より浄土宗に改宗致し法然上人を中興第一祖として今に傳く尚最近第三十三代高僧上人に關つた傳言が散見され当山の由緒深きこと明瞭なり

法然上人の寶瓶の御影安置(御影堂)

大永七年(一一二七)塚小方上人法然上人流罪の地四国高松建福寺現在第三十三代高僧上人に關つた傳言が散見され当山の由緒深きこと明瞭なり

絹本彩色五仏尊像圖

中國元時代(唐書) 國指定重要文化財

弥陀 四尊圖

鎌倉末期(室町) 兵庫県指定重要文化財

不動明王二童子圖

室町初期(室町) 高砂市指定重要文化財

地藏菩薩像

時代不詳(室町) 高砂市指定重要文化財

その他

杖池三尊圖(阿彌陀三尊像) 阿彌陀三尊像(五尊像) 石造高僧仏(平安) 御影堂(開) 聖百孝名刺掛板(聖子九十八供養) 高砂城主権所景泰公及び三浦(板)の墓碑(寛永) 中央

宝物

絹本彩色五仏尊像圖

中國元時代(唐書) 國指定重要文化財

弥陀 四尊圖

鎌倉末期(室町) 兵庫県指定重要文化財

不動明王二童子圖

室町初期(室町) 高砂市指定重要文化財

地藏菩薩像

時代不詳(室町) 高砂市指定重要文化財

その他

杖池三尊圖(阿彌陀三尊像) 阿彌陀三尊像(五尊像) 石造高僧仏(平安) 御影堂(開) 聖百孝名刺掛板(聖子九十八供養) 高砂城主権所景泰公及び三浦(板)の墓碑(寛永) 中央

高砂市親光協会

十輪寺





十輪寺は空海開創と伝えられ、その後一時廃退していた。現在の本堂は寺蔵の歴代録によると、中興24世律空悦道上人が、元禄6年(1693)に入山し再建したと記されている。建物は桁行9間、梁間8間、向拝2間の二重寄棟造本瓦葺きで、3方に広縁をめぐらせ、内部を下陣、内陣、後陣、位牌堂に区分し、内陣の左右に脇陣を置く。外観は簡素であるが、内外陣境の欄間の彫刻および内陣回りの絵様色彩などは優美華麗で、内部の構造、装飾衣装は文化の爛熟した17世紀初頭の風格を持っている。



変わった床屋

十輪寺の前の通りの右手を見ると周囲の雰囲気と
かけ離れた建物が目に入ってきた
近づいて良く見るとドイツ風のデコレーションの
散髪屋 Friseur Ishihara





県立高砂海浜公園

向島公園

向島多目的球場

